

創設の趣旨・目的

Outline and Characteristics of the University

今日の教育は、広く国民の大きな関心を集め、教育の制度や内容は大きく発展してきた。

しかし、その中心となる学校教育を担う教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

上越教育大学は、このような時代の要請にこたえて、主として初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として、1978年（昭和53年）10月1日に設置された。

大学院は、学校教育研究科とし、修士課程を置き、主として初等中等教育の実践にかかわる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしており、そのために、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的としており、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これに携わる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成についても重視することとしている。

また、1996年（平成8年）4月1日教員養成系としては初めて、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」は、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が、それぞれの大学院修士課程における実績の上に、連携協力して教育・研究組織を編成し、学校教育における教育活動や教科の教育に関する実践的研究を行い、それを踏まえた高度の研究・指導能力を備えた人材を育成することを目的としている。

さらに、2008年（平成20年）4月1日、教職大学院制度発足に合わせ、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程（教職大学院）を設置し、教職に関する精深な学識を身につけ、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を有する教育者を育成することを目的としている。

Reflecting the fact that education is a matter of great concern among Japanese people today, there has been a marked development in educational systems and materials. Today's classroom teacher, the central figure in education, is expected to have a versatile array of qualities such as a high appreciation of culture supported by a sense of mission and humanity; a deep understanding of pedagogical ideas and methods as well as the processes of human growth and development; a specialized knowledge of subject areas; and excellent teaching techniques.

In order to meet these contemporary needs, Joetsu University of Education was established in 1978 as a national university which aims to promote the theoretical and practical studies of school education. It consists of the Graduate School of Education, which is chiefly intended for in-service teachers, and the College of Education, which offers undergraduate courses in teacher training.

The Graduate School of Education (Master's Program) conducts comprehensive and specialized studies of various sciences chiefly involved in the theory and practice of elementary and secondary education. It also offers school teachers the opportunity of pursuing advanced research and improving their theoretical and practical abilities. For that purpose, approximately two-thirds of the admission capacity of the Graduate School of Education is allotted to the teachers who have at least three years of teaching experience.

The College of Education offers undergraduate courses which train students to have excellent teaching abilities in all the subject areas of elementary education. The course work also cultivates a comprehensive understanding of the processes of growth and development in children. Considering the importance of primary education as the starting-point for people's lifelong learning, special emphasis is placed on building the characters of the students who intend to become elementary school teachers.

In 1996 the Joint Graduate School in Science of School Education was opened at Hyogo University of Teacher Education as the first Ph.D. Program in the field of teacher training in Japan. Its educational and research system is organized on a cooperative arrangement among four universities, Joetsu, Hyogo, Okayama, and Naruto. Supported by the experiences and achievements of each university's Master's Program, the Joint Graduate School (Ph.D. Program) conducts practical research on educational activities and the teaching of subject areas, and thereby aims to train capable persons with high abilities of research and instruction.

In addition, in 2008, The Professional Degree Program (Graduate School of Professional Teaching) was established in the Graduate School of Education by the development of the Teaching Profession Graduate School System. The purposes of this degree course are to promote knowledge about teaching professionalism, and to train educators who have abilities to deal quickly and effectively with various problems and phenomena in school education.

● 大学院の目的

学校教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力と高度な実践的指導力を備えた有為の教育者を養成する。

● 専攻の目的

(1) 修士課程

① 学校教育専攻

臨床的視点から幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。

② 教科・領域教育専攻

教科・領域教育の多様な視点から学校教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力を備えた有為の教育者を養成することを目的とする。

(2) 専門職学位課程

① 教育実践高度化専攻

教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を備えた高度専門職業人としての初等中等教育教員を養成することを目的とする。

● コースの目的

(1) 修士課程

① 学校教育専攻

i 学校臨床研究コース

教科の授業にとどまらず学校教育全般を幅広く研究対象とし、児童生徒の学習と人間形成の両面にわたって、実際に学校で起こっていることと当事者の視点を大切にしながら、実践的支援に資するような臨床研究を行う。

ii 臨床心理学コース

子どもから大人までの心と行動の問題に専門的に対処し、クライアントが抱える悩みをやわらげ、心の健康を維持・回復するための理論と方法について、講義、演習、実習を通して学び、臨床心理士としての技術と資質を習得する。さらに、修士論文の作成を通して、臨床心理学に関する基礎的及び応用的な研究方法の習得を目的とする。

iii 幼児教育コース

幼児の理解や幼児教育の分野を中心とし、幼児の成長と発達、幼児教育の原理、

保育内容の研究等に関する総合的・専門的な研究・教育を行う。

iv 特別支援教育コース

障害児の教育、心理・生理、指導法などに関する総合的・専門的な研究・教育を行う。対象となる子どもは、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室で教育を受けている児童生徒に加えて、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子ども（LD児、ADHD児等）を含んでいる。

② 教科・領域教育専攻

i 言語系コース

言語の品質に関する科目、国語科教育、国語に関する専門科目、英語科教育、英語に関する専門科目等について総合的・専門的な研究・教育を行う。

ii 社会系コース

社会認識に関する科目、社会科教育、社会科に関する専門科目等について総合的・専門的な研究・教育を行う。

iii 自然系コース

自然や科学の理解に関する科目、数学科教育、数学に関する専門科目、理科教育、理科に関する専門科目等について総合的・専門的な研究・教育を行う。

iv 芸術系コース

芸術の表現や鑑賞等に関する科目、音楽科教育、音楽に関する専門科目、美術科教育、美術に関する専門科目等について総合的・専門的な研究・教育を行う。

v 生活・健康系コース

生活・健康に関する科目、家庭科教育、家庭に関する専門科目、技術科教育、技術に関する専門科目、保健体育科教育、保健体育に関する専門科目、学校保健・食に関する専門科目等について総合的・専門的な研究・教育を行う。

(2) 専門職学位課程

① 教育実践高度化専攻

i 教育実践リーダーコース

子どもの経験の総体としてのカリキュラムを、教室や学校で自らデザインできる「指導的立場から方向性を示す教員」と「即戦力となる新人教員」を養成する。

ii 学校運営リーダーコース

生き生きとした子どもの学びや教師の活動を実現する学校に必要とされる多様な内容の校務を自ら企画・運営していくことのできる「学校において指導的な役割を果たす教員」を養成する。

● 大学院の教育目標

現職教員の資質能力の向上に関する社会的要請に応えるべく、学校教育に関する臨床研究の成果を踏まえた理論と応用を教授し、学校現場における様々な課題に対応できる高度な実践的指導力を育成するとともに、教職を目指す学生に対しては、学校教育の場において創造的な教育・研究活動に主体的に取り組むことのできる実践力を養成する。

● **学部の目的**

学校教育に関する専門の学芸を教授研究し、広く豊かな知識を授けるとともに、教育実践の場における優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成する。

● **専修の目的**

(1) **学校教育専修**

臨床的視点から学校教育に関する専門の学芸を教授研究し、広く豊かな知識を授けるとともに、教育実践の場における優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的とする。

(2) **教科・領域教育専修**

教科教育の多様な視点から学校教育に関する専門の学芸を教授研究し、広く豊かな知識を授けるとともに、教育実践の場における優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的とする。

● **学部の教育目標**

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識を備えた教員を養成する。そのため、教師としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子どもを理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

上越教育大学大学院の趣旨・目的



上越教育大学は、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するため、1978年（昭和53年）10月1日に設置された国立の大学です。

学校教育を担う教員には教科に関する専門的学力はもちろんのこと、教育者としての使命感、人間愛に支えられた広い一般教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、優れた教育技術など専門職としての高度な資質能力が必要です。

本学は、これらの要請に応えるため、主として初等中等教育諸学校教員に研究・研鑽の機会を提供する大学院修士課程と、初等教育教員の養成を行う学部を備え、学校教育に関する高度な理論的・実践的な教育研究を推進する「教員に開かれた大学院を中心とした新しい構想の大学」として創設されたものです。

創設以降、本学は設置理念に基づいた教育研究を推進し、1996年（平成8年）4月1日には、本学、兵庫教育大学、鳴門教育大学及び岡山大学を構成大学とする「兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」が、教員養成系大学・学部として初めて設置されました。

また、2000年（平成12年）4月には、大学院修士課程の専攻・コースの再編、専攻別入学定員の変更等の改組を実施し、さらに2008年（平成20年）4月には、専門職大学院制度を活用した教員養成の充実を図るため、新たに専門職学位課程（教職大学院）を新設しました。上越教育大学は、現在、学部、大学院修士課程、大学院専門職学位課程（教職大学院）と連合大学院博士課程を擁する、「教育の総合大学」としての体制を整えています。

本学大学院は、「学校教育に関する理論と応用を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授け、教育にたずさわる者の使命と熱意に応え、その研究研鑽を推進するとともに、初等中等教育の場において教育研究を創造的に推し進めることのできる能力と高度な実践的指導力を備えた有為の教育者を養成すること」を目的としており、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育諸学校における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしています。

本学は、全国の教員養成モデル大学を目指し、21世紀の教育を担う指導的な人材として、現代の複雑さを増している教育諸問題と諸課題に臨時的に対処できる高度な教育研究の推進者を養成し、教育実践研究において、我が国をリードすることのできる基幹的な大学院となり得るよう最善を尽くしてまいります。

上越教育大学創設の趣旨・目的

上越教育大学は、1978年（昭和53年）10月1日に設置された国立の新構想教育大学です。本学は、我が国の教育大学及び学部が築き上げてきた教員養成の成果に立脚して、更に教育者としての使命感、人間愛、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、優れた教育技術など専門職としての高度な資質能力の養成といった新たな時代的かつ社会的要請に応えるために、創設されました。

上越教育大学は、このような新たな教員養成の構想に基づいて、教育の最も基本となる初等教育教員の養成を行う学校教育学部と学校教育の場における教育研究の推進者を養成する大学院学校教育研究科（修士課程）を開学当初から備えています。学校教育学部は1981年（昭和56年）4月から学生を受け入れ、今日に至っております。

学校教育学部の教育課程は、上記の新構想の理念に基づき、特に教育実習の拡充を図るなど、本学独自の内容と方法を誇っております。本学卒業生は、創設から30

年の若い大学であるにもかかわらず、都道府県教育委員会等よりその実践的実力を高く評価されております。本学の教員採用率が近年トップクラスを占めていることは周知のことですが、それは本学独自のきめ細かなキャリア教育を実施してきたことにあります。

1996年（平成8年）4月1日には、本学他3大学を構成大学とする「兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科（博士課程）」が、教員養成系大学・学部としては初めて設置され、また、2008年（平成20年）4月1日に、教職大学院制度の創設に合わせ、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程（教職大学院）を新設しました。よって現在の上越教育大学は、学部、大学院（修士課程・専門職学位課程）と連合大学院（博士課程）を擁する「教育の総合大学」としての体制を整え、今日に至っています。

上越教育大学は、21世紀において、我が国の教員養成と教育実践研究の拠点となることを目指しています。

